

政務三役と長期失業者支援事業及び基金訓練による就職者等との懇談会
(第2部：基金訓練)

日時：平成22年1月16日(土) 16:30～17:30

場所：厚生労働省 大臣室

出席者：

(厚生労働省)

- ・長妻 昭 厚生労働大臣
- ・細川律夫 厚生労働副大臣
- ・山井和則 厚生労働大臣政務官
- ・小野 晃 職業能力開発局長
- ・田畑一雄 職業能力開発局能力開発課長

(基金訓練による就職者等)

Aさん(50代半ば：男性)

「介護ヘルパー養成教養科」を修了後、訓練期間中の実習先である東京都内の特別養護老人ホームにおいて介護職に従事(有期雇用であるが、期間の定めのない雇用への移行の可能性あり)

Bさん(40代前半：女性)

「介護ヘルパー養成教養科」を修了後、訓練期間中の実習先である東京都内のグループホームにおいて介護職に従事(期間の定めのない雇用)

Cさん(30代後半：女性)

「保育補助者養成科」を修了後、訓練期間中の実習先である東京都内の保育園において保育士補助業務に従事(パートとして3月末までの有期雇用、別の保育園への4月からの就職に向け応募中)

Dさん(30代前半：男性)

「IT基礎マスターコース科」を修了後、東京都内の会社において配送・伝票処理業務に従事(有期雇用であるが、期間の定めのない雇用への移行の可能性あり)

Eさん(30代前半：女性)

「パソコン基礎力向上科」受講中に就職が決まり途中退校後、神奈川県内の社団法人においてキャリアアドバイザー業務に従事(有期雇用であるが、期間の定めのない雇用への移行の可能性あり)

Fさん(40代前半：女性)

「ITスキルアップ訓練科」を修了後、神奈川県内の薬局などにおいて販売補助業務などに従事し、事務職での就職を目指し求職活動中(アルバイト)

<長妻大臣>

皆様方の基金訓練を受講される前の、前職、求職期間、基金講座についてのご意見をお聞かせください。

<Aさん>

前職は建築関係の仕事をしていました。両親が体調を崩し、去年・一昨年と面倒をみていましたが、親戚とも相談し退職をしました。介護の根本を学びたく去年の8月にハローワークを通じ基金訓練に申し込み、10月1日から12月25日まで介護関係の訓練を受講しました。介護関係で実習に行った先に就職がきまり、来週から初出勤になります。

<Bさん>

勤めていた会社が昨年経営が悪化し、委託先の会社を紹介されましたが、子供がいるため単身で働くことが困難だったため退職し、ハローワークの紹介により介護関係の訓練を受講しました。授業の内容は濃く、基本は学ぶことができました。1月から実習先に就職が決まりました。

<Cさん>

主婦を11年やっていて、子供も2人いましたが、離婚をし、医療事務受付などやっていました。調理師免許を持っていたので8月までは学校給食関係の仕事をしていましたが、民間の会社であり、入札の結果、自宅近辺の学校の業務がなくなって、勤務先が遠くなり、子育てとの両立が困難になり退職しました。9月からハローワークに通い、子育ての経験があったので保育関係のコースに応募し、10月から訓練を受講しました。2月1日から実習先の保育園で働くことになりましたが、保育士の資格がないためパート扱いとなっています。

<Dさん>

4年間国家試験（司法書士）の勉強をしながらバイトをしていましたが、試験には通らなかったため、30歳までには独立して生計を立てたいと考え、今回、ハローワークに通うことにしました。7月末からパソコン講座に通い、エクセルやワードについて学びました。訓練修了後2カ月ほど就職活動をおこない、1月6日に東京都内の会社に就職が決まりました。

<Eさん>

派遣社員として働いていましたが、会社から契約社員として働いてくれないかと言われ、条件があわず退職しました。ハローワークからではなく、友人からの紹介で今回の緊急人材育成支援事業の制度を知りました。訓練期間中に就職が決まり、訓練は途中でやめました。

< F さん >

14 年間主婦をしていましたが、離婚をしたため、ハローワークへ通いました。ハローワークの担当者がいい人でよく相談に応じていただき、パソコン初心者コースを受講しました。就職はまだ決まっておらず、現在はアルバイトを2件掛け持ちしながら求職活動中です。

< 長妻大臣 >

今回の制度についてはどこで知りましたか。

< D さん >

父親から聞き、自分でもパソコンで調べました。

< E さん >

友人からの紹介で知りました。

< F さん >

ハローワークの担当者から聞きました。

< 他の方 >

ハローワークにおいてあるパンフレットで知りました。

< 長妻大臣 >

今回の事業についての改善点について教えてください。

< A さん >

今回受講したコースが、介護ヘルパー2級の資格をとるコースでしたが、20名の募集に対して80名の応募がありました。20人のうち16人が最後まで訓練を受講しましたが、3名が内定をもらった他はまだ就職は決まっていません。介護分野は人材不足と言われていますが、就職の募集がかかるとそれなりの応募者が集まるので、本当に人材が不足しているのかと思います。また、面接の時に経験を問われることがありましたが、実際施設では加湿器に水を入れるなどの単純な作業まで職員がやっており、そういった作業を経験のないパートにやらせれば良いと思います。今でも就職できない受講者がいる中で、4月以降介護福祉士を取得した学生が出てくるので、就職についてはますます厳しくなると思います。

< 山井政務官 >

介護実習について日数を増やすことにより、経験に結びつく事にはならないでしょうか。

<Aさん>

介護実習については、通常のヘルパー2級の講座が2日間見学のみといったことが多いのに比べれば、今回の訓練は充実していました。それ以上長くすればいいというものでもないと思います。

<Cさん>

交通費について、実習先の場所は人それぞれ違い、中には交通費が賄えなくて訓練をあきらめる人も出てきています。また、給付金についても申請した後に振り込まれるので、交通費を躊躇してしまいます。

<Dさん>

交通費などについて、訓練開始前に定期代1万5千円、テキスト代1万5千円と、最初の月に3万円用意しないといけませんでした。学割について交通機関に問い合わせてみましたが、3か月の訓練期間と短かったためでした。交通費が出ないのであればせめて学割が適用出来るようにしてほしいです。給付についても、受講開始後1か月後の振込だったため、最初の月が厳しいと感じました。

<Eさん>

ITスキルコースに通いましたが、専門学校だったため内容も良く、役に立ちました。ただ、マウスの操作で1時間の授業が終わってしまうこともあり、年代別とか、スキル別、初級から上級などの区分けがあればよりスムーズに進められたのではないかと思います。

<山井政務官>

やはり、交通費が負担になる。給付金についても支給までに1カ月かかっており、この辺はどうにかならないのでしょうか。

<田畑能力開発課長>

交通費については、関係機関との調整が必要になります。

<山井政務官>

給付についてはどうでしょうか。2週間くらいにならないでしょうか。

<田畑能力開発課長>

訓練開始当初は1カ月近く時間を要していましたが、現在は、認定してからは半月程度で振込が行われるようになっています。

<長妻大臣>

今回の制度について、まだ知らない方もいると思いますが、どこで宣伝したら効果

的かご意見はありますか。

<Cさん>

パンフレットをハローワークで入手したのですが、もっと目立つところに置くとか、ここにパンフレットがありますと目立つようにした方がいいと思います。

<小野職業能力開発局長>

現在は、大型のポスターをハローワークに掲示しており、窓口において新規求職者の方に対してカードを配布していくなど措置をしています。

<細川副大臣>

訓練終了後の就職あっせんは、どこでしてもらいましたか。

<就職者の皆さん>

ハローワークで紹介してもらったり、学校から職場見学やアドバイスなど就職活動の協力等してもらいました。

<長妻大臣>

本日は、お忙しいところ貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。